

新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起

2020年2月22日

九州教区主教 ルカ 武藤謙一

昨年末より新型コロナウイルスによる感染症発生が報じられ、国内での感染者も増加し、社会生活や経済にも影響がでており、今週になって福岡県、熊本県でも感染者が出ています。同感染症をめぐる、不確かな情報に基づいていたずらに不安をあおるようなことは避けなければなりません。感染予防は高齢者の方が多く集まる教会においても必要なことです。

つきましては、教会内外の人々の健康を祈り、よりよい行動をとられるよう、当面、以下のことを心に留めてくださるようお願い申し上げます。

1. 飛沫感染予防・ウイルス拡散を防ぐためマスクの着用と、こまめな手洗い、うがいの心がけをお願いいたします。聖堂や会館の入口に手指消毒用アルコール設置をお願いいたします。
2. 体調不良の場合は、無理せず聖餐式への参加自粛をお願いいたします。
咳、発熱など風邪の症状がある時は、当面の間、聖餐式への出席はお控えくださるようお願いいたします。
3. 聖餐式中のマスク着用は構いません。また、聖書朗読者やサーバーなどの礼拝奉仕に携わる方々も同様にマスク着用は構いません。
4. 司式者はじめご聖体を扱う方々は、聖餐式前の入念な手洗いをお願いいたします。
5. 聖餐式での陪餐は当面の間、インテイクションとします。今回は、パンをご自身でブドウ酒に浸していただく方法をお取りください。その際には指がブドウ酒に触れることのないよう十分にご注意ください。また一種陪餐を希望される方がおられる場合には、非常時ゆえに一種陪餐での対応もご考慮ください。
6. 教役者に体調不良や、発熱などが生じた場合には、聖餐式執行を自粛するようお願いいたします。
なお、その際には「み言葉の礼拝」等、信徒の方々による礼拝を守られるようご考慮ください。その際には急なことでもあり、勧話はなくても構いません。
7. 「平和の挨拶」は、握手等を避け、会釈に留める等ご考慮ください。

今後も推移を見守り必要な対応を定めてまいりたいと思います。尊い命を失った方々の魂の平安、感染した方々の回復と医療に当たる方々の働きのうえに見守りがありますように、そして早く感染が収束しますようお願いいたします。